



うさぎぐみだより



2025年度3月2日発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ1
発行者 クラス担任

暖かい日と寒い日を繰り返して少しずつ春が近づいてきていますね。早いものでうさぎぐみでの生活も残りわずかとなりました。最近では、泣いている子の近くに行ってお顔をよしよししてくれたり、その子が欲しいおもちゃを探して持ってきてくれたりとお友だちを思う優しい姿が見られます。鼻水が出ると自分でティッシュを取り、上手にかめる子もいれば、口で「ふん！」と言う子もいて何とも可愛らしいうさぎぐみです。一人ひとりが自分のペースで成長している姿を嬉しく感じています。

🌸 今月のねらい 🌸

- ◎保育者と一緒に手を繋ぎ、簡単な交通ルールなどの約束を守り、楽しみながら散歩に参加する。
- ◎異年齢児との交流を楽しむ中で進級への期待感を感じる。
- ◎友だちや保育者と関わる中で会話を使ったごっこ遊びや見立て遊びなどを楽しむ。



おままごと楽しいな♪

最近はおままごと遊びを楽しむ姿が増えてきました。これまでは殆ど一人遊びが中心でしたが、「どうぞ」「ちょうだい」「いただきます」などの簡単な言葉や身振りを交えながら、子ども同士でのやり取りをする様子が見られるようになってきています。園庭では自分たちで机をだして、玩具箱を椅子にし、5～7名くらいの小集団で、お店屋さんごっこをする姿がよく見られます。また、遊びに入りたいときに「入れて」「いいよ！〇〇こっち座って！」などと子ども同士での会話がよく聞こえ、成長を感じています♪♡



たくさんお散歩したね♪

散歩に出かけるとタンポポが咲いていて春の訪れを感じられるようになりました。「ワンワンいるかな？」「クレーン車だ！」と見慣れた景色に会話が弾んでいます。また、最近では、これまでバギーに乗って楽しんでいたお散歩も、少しずつ保育者やお友達と手を繋いで歩く姿が見られるようになってきました。「こっちだよ！」「たのしいね！」とお友だちにニコニコで話しかける姿にほっこりしています♪
散歩を通して友だちとのかかわりが
増え、一人ひとりの成長へ繋が
っているな～と感じています♪



1年間を振り返って

入園した頃は泣いてお父さんお母さんから離れられなかった子が、今ではおしゃべり上手になり、元気にお家の話を聞かせてくれたり、一人でスプーンを持って食事をしたり、ズボンやパンツの上げ下げができたりと、この1年間でたくさんの成長を見ることができました。一番成長の著しい大事なこの時期と一緒に過ごし、子どもたちの輝く姿を見守ってあげたこと、とても嬉しく思っています。

この1年、保護者の皆様にはご迷惑をおかけすることも多々ありましたが、いつも温かい目で見守ってくださり、本当にありがとうございました。



🌸 おねがい 🌸

- 🌸 3月21日卒園式後は、新入園児説明会/面談がある為、午後はできる限り家庭保育のご協力をお願いいたします。
- 🌸 3月31日は新年度準備、園内断水日となっておりますので家庭保育をお願いいたします。